たより

拝啓（前略）先年の北海道にて見たるあの素晴らしきコロナの状景，夢の如く思ひ出され候．此の一回の經驗より，吾人素人にも，も一度見る機會あらば，かうもせん，ああもしたしと，反省せらるゝ點一二に止まらず候．その中不肖として「コロナの肉眼的の大さ」の問題に候．前年の時の結果は人々により，或は太陽の一倍といひ，又二倍，三倍，私共は少くとも七，八倍は展開してゐたと感じたるものに候へ共，誰れも數量的に測定せられざりし事を遺憾に存じ候．私の如き，若し前以て，之の問題を考へてゐたなれば，十分にコロナ展開度を觀測するに適したる度盛り入りの双眼鏡を持ち居たるに，然る經驗なきため，後よりそれと氣づきし次第に候．即ち，私の持ちし双眼鏡の一方のレンズに圖の如く度盛りを施しありしものに候(圖略す——編者)．之れによつてコロナ展開度に注意せば，難なく測れた筈に候．初の經驗なりしため，切角の機械を無駄に終らしめたること，今に殘念に存じ居る次第に候．

就而は，先生今回の觀測には，又種々の目的にて到底，右様の素人的要求御願に應じ被下べき餘裕なぞ，之れなかるべくと存じ候へ共，「肉眼的コロナ展開度」の測定を試み下さらばと存じ候．御觀測主題の御妨げにならぬ範圍に於て，希望申上げ候．（後略）

津田雅之

編輯室より

今秋の日蝕のための特輯號を茲に送る．獨ソの戰鬪が始まつたので，此の日蝕を觀測する責任と光榮とは我々日本人にのみ與へられたと考へられる．公私の各觀測隊の上に幸多からんことを念ぜざるを得ない．▲先年，北海道の日蝕を見る機會の無かつた人々は，是非この度は臺灣へ出かけ給へ．これを外すと將來，永い間，我が國で日蝕は見られないのだ．（尤も，1943年の極寒の季節に北海道で早朝の低い東天に見えるものがあるにはあるが……）

天界正誤表

第241號（昭和16年七月號）		誤	正
第208頁	下ヨリ14行目	簡平義記	簡平儀記
第209頁	第11行目	宮府に	官府に
〃	下ヨリ16行目	中村湯齋	中村陽齋
〃	下ヨリ12行目，右端	而不達理氣之自然趣	而不達理氣自然之趣
〃	下ヨリ11行目，中央	有從未所未見，所來者	有從來所未見，所未者
第211頁 第212頁	第3行目 第3行目	中村湯齋	中村陽齋